

## 令和6年度 学校評価【自己評価】の概要について

### 1 各部等の自己評価

令和6年12月、今年度の目標等について自己評価を行い、反省を行った。

#### (1) 重点目標

全体的におおむね達成できたという肯定的な評価となった。

重点項目アについては、ICT機器を活用した授業の展開をさらに推進させることができるよう、現職教育の充実や指導方法の研究を進め、効果的な教育活動を行うことができるようにしたい。

重点項目イについては、より充実した指導や活動となるように学科、学年、教科等の連携を積極的に図るとともに、組織的な対応となるようにしたい。

重点項目ウについては、一定の評価を受けている挨拶の励行を継続して推進するとともに、自己指導能力の育成に向け、粘り強く継続した指導を展開したい。

#### (2) 各部

全体的におおむね達成できたという肯定的な評価となった。

ICT機器等を活用した働き方改革の推進により、一定の業務効率化が進められた。これによって、生徒への指導がより効果的に展開できるようになったほか、教員の力量向上にもつながったことから、今後も継続して働き方改革を見据えた取り組みを進めたい。

#### (3) 各学年

全体的におおむね達成できたという肯定的な評価となった。

今年度在籍する生徒については、新型コロナウイルス感染症の影響により、本校入学前の中学校段階においても通常の教育活動が実施されていない部分もあるため、基本的な生活習慣の確立やコミュニケーション能力の育成等、不足している部分についても指導を進めたい。

#### (4) 各学科

全体的におおむね達成できたという肯定的な評価となった。

「栃農ブランド」の確立に向け、各学科において特色ある活動を展開し、教育目標の達成に向け取り組んでいる。三校統合を見据え、農業高校としてのプライドを持ち、新校における農業科のあり方について検討を進めていきたい。

### 2 生徒・保護者アンケート

令和6年12月、生徒及び保護者へのアンケートを行った。アンケートの方法については、昨年度から導入した「Microsoft Forms」によるWebアンケートを継続して実施した。なお、アンケート項目については、昨年度まで実施していた「研修旅行」に関する内容を、「タブレットパソコンを活用した学習」に関する内容へ一部修正を行った。

#### (1) 生徒アンケート(23項目)

肯定的回答が80%を越えた内容については20項目(昨年度比±0)、肯定的回答が30%を下回った内容については1項目(昨年度比±0)、前年度から肯定的回答が5ポイント以上増加した内容については4項目(昨年度比-13)、前年度から肯定的回答が5ポイント以上低下した内容については0項目(昨年度比±0)であった。肯定的回答が5ポイント以上増加した内容については昨年度比から見ると減少しているものの、全体を通して肯定的回答の割合が多いことから、各種教育活動が一定の評価として表れているものと考えられる。一方、読書習慣については依然として低い数値であり、ICT機器を活用した学習との関連を図りながら指導を展開したい。

#### (2) 保護者アンケート(19項目)

肯定的回答が80%を越えた内容については14項目(昨年度比+1)、肯定的回答が30%を下回った内容については1項目(昨年度比±0)、前年度から肯定的回答が5ポイント以上増加した内容については4項目(昨年度比+1)、前年度から肯定的内容が5ポイント以上低下した内容については0項目(昨年度比-1)であった。肯定的回答が5ポイント以上増加した内容については昨年度比から見ると増加しており、家庭と連携した取り組みが一定の評価として表れているものと考えられる。今後も、保護者はもちろんのこと、関係者と連携しながら更なる向上に向けて検討を進めたい。

#### (3) その他

自由記述回答欄については、生徒、保護者ともに、多くの貴重な意見が寄せられた。早急に改善が必要な内容(改善できる内容)、長期的に改善していくべき内容、現実的に改善が難しい内容等、様々な内容が見られるが、昨今の社会情勢や本校の目指す教育等を踏まえたうえで、精査して今後の教育活動を展開したい。また、生徒、保護者ともに本校へ入学して良かったという項目の肯定的回答が90%超と、昨年度に引き続き非常に高い結果となった。この想いを裏切らないためにも、さらに充実した教育活動を展開したい。